




域学連携・関係人口対策

関係する大学等と連携してイベント実施・参加。

大学等が行うまちづくりの研究などに協力し、若い世代の緑が丘への関心を高めました。

研修	イベント	調査・研究
<ul style="list-style-type: none"> ■ トライアルリビングラボ ・みどりん寄席 ・くるくる回るショップ ほか  <p>東京大学高齢社会総合研究機構</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 緑が丘ハッピーハロウィン ■ 三木さんさんまつり ■ 昆虫捜査大作戦 ■ 赤ちゃんお世話大作戦 ■ 駄菓子屋さん   <p>三木北高校 関西国際大学 関西学院大学 神戸大学 兵庫県立大学(学生)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 住環境アンケート ■ まちづくり調査 ■ 雇用アンケート など <p>関西学院大学 大阪大学 など</p>

(参考)
緑が丘町・青山地区の人口・空家空地の推移

緑が丘町地区の人口は、事業に着手していない前期5年間(平成22~27年)に比べ、団地再生事業を進めてきた後期5年間(平成27~令和2年)では、若年層は増加傾向に壮年層は減少率が逡減しています。

緑が丘	0~14歳		15~64歳		65歳~		緑が丘計
22年	987	100.0%	5,301	100.0%	3,108	100.0%	9,396
23年	979	100.0%	5,161	100.0%	3,195	100.0%	9,335
24年	961	98.2%	5,062	98.1%	3,328	104.2%	9,351
25年	958	99.7%	4,893	96.7%	3,454	103.8%	9,305
26年	960	100.2%	4,741	96.9%	3,531	102.2%	9,232
27年	960	100.0%	4,645	98.0%	3,618	102.5%	9,223
28年	969	100.9%	4,531	97.5%	3,652	100.9%	9,152
29年	982	101.3%	4,509	99.5%	3,712	101.6%	9,203
30年	979	99.7%	4,422	98.1%	3,705	99.8%	9,106
1年	994	101.5%	4,427	100.1%	3,690	99.6%	9,111
2年	980	98.6%	4,383	99.0%	3,675	99.6%	9,038
10年間(22~R2)	99.3%		82.7%		118.2%		96.2%
前期5か年(22~27)	97.3%		87.6%		116.4%		98.2%
後期5か年(27~R2)	102.1%		94.4%		101.6%		98.0%

青山	0~14歳		15~64歳		65歳~		青山計
22年	970	100.0%	4,349	100.0%	794	100.0%	6,113
23年	962	99.2%	4,375	100.6%	819	103.1%	6,156
24年	946	98.3%	4,381	100.1%	901	110.0%	6,228
25年	938	99.2%	4,235	96.7%	991	110.0%	6,164
26年	905	96.5%	4,139	97.7%	1,060	107.0%	6,104
27年	865	95.6%	4,032	97.4%	1,139	107.5%	6,036
28年	813	94.0%	3,916	97.1%	1,224	107.5%	5,953
29年	780	95.9%	3,873	98.9%	1,282	104.7%	5,935
30年	769	98.6%	3,761	97.1%	1,352	105.5%	5,882
1年	718	93.4%	3,669	97.6%	1,426	105.5%	5,813
2年	690	96.1%	3,498	95.3%	1,526	107.0%	5,714
10年間(22~R2)	71.1%		80.4%		192.2%		93.5%
前期5か年(22~27)	89.2%		92.7%		143.5%		98.7%
後期5か年(27~R2)	79.8%		86.8%		134.0%		94.7%

(人口は各年12月末現在。住民基本台帳調べ)

緑が丘町・青山地区の空家・空き地状況

		2015調査	2020調査	差引
緑が丘町	空地	204	150	-54
	空家	109	49	-60
青山	空地	98	71	-27
	空家	21	9	-12

推進機構では、2015年から2020年の5年間の空家・空き地の状況を調査しました。緑が丘町・青山地区ともに、空地・空家の状況は改善されています。

「三木市生涯活躍のまち構想」モデル事業にご協力ありがとうございました。

「三木市生涯活躍のまち構想」は、平成28年9月に国の地域再生事業の認定を受け令和3年3月末までの5年間にわたり緑が丘町をモデル地区として取り組んできました。この構想を進めるために「一般社団法人三木市生涯活躍のまち推進機構」を設立、平成29年5月に「緑が丘事業部」と「みどりん(サテライト)」をサンロード商店街に開設しました。

実証事業の実施に当たり、まちづくり協議会・運営協議会・地域の皆様や大和ハウス工業(株)・三木市郊外型住宅団地ライフスタイル研究会などの方々にご支援・ご協力をいただきありがとうございました。事業の経過について報告させていただきます。

推進機構が目指してきたもの

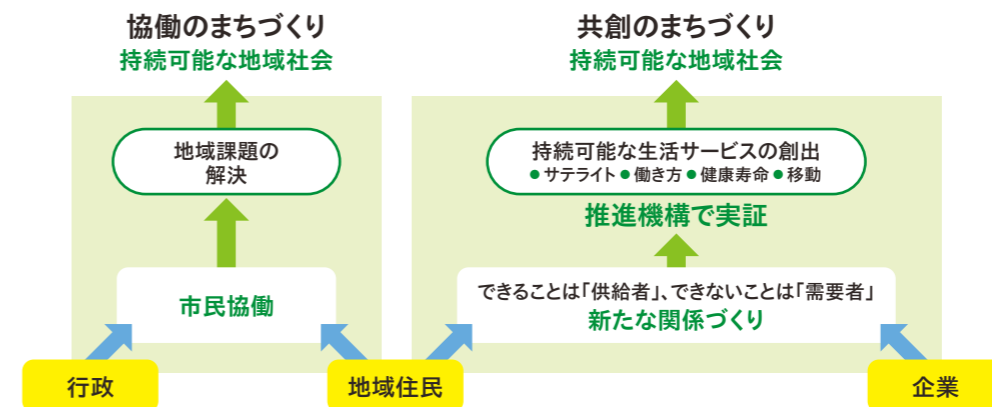
共創のまちづくり ~「協働」から「共創」へ~

私たちの暮らしは少子・高齢化による人口減少が進むなか、福祉・防犯・防災など、まちづくりにおいて様々な地域課題を抱えています。市民協働のまちづくりは、市民と行政が力を合わせて地域の課題を解決するための大きな力となっています。



一方で、人口減少は市場規模を縮小させ地域で活動する企業がこれまで提供してきた各種生活サービスの縮小を招きます。たとえば、公共交通の減便、ガソリンスタンドや生活必需品を販売する店舗の閉店などです。このような生活サービスの縮小を抑えるためには、従来からの「地域住民(消費者)はサービスの需要者」・「企業はサービスの供給者」という関係を見直し、持続可能な新しい関係づくりが必要です。

推進機構では、人口減少社会において地域での暮らしに必要な生活サービスを持続していくために、住民と企業が相互に「できることは担い手」となり、「できないことは受け手」となる新たな関係づくり(共創のまちづくり)に向けて「サテライト」・「働き方」・「健康寿命」「移動」の4つのポイントを中心に各種事業を進めてきました。



リビングラボで少子高齢・人口減少社会に対応するため「新たな生活サービス」を創出



リビングラボを進めるにあたって

各種実証事業を行ってきたなかで、地域づくりにおいて「交流型社会関係」が重要なポイントとなります。

「おひとりさま」から「おたがいさま」へ

「一人で頑張る」	から	「みんなで持ち寄る」	へ
「高齢者対策」	から	「全世代参加策」	へ
「ないものねだり」	から	「あるもの活かし」	へ
「できないこと批判」	から	「できること試し」	へ
「金のために時間を売る働き方」	から	「時間を寄付したり交換したりする働き方」	へ
「じぶんたちだけで」	から	「まわりの力を借りて」	へ
「地域住民だけで」	から	「法人市民・関係人口も含めて」	へ

「ナショナルサービス」から「地域に必要な生活サービス」へ

「企業がつくる」	から	「需要者の意見を入れてつくる」	へ
「あるものをつかう」	から	「地域にあったものをつくる」	へ
「ないものねだり」	から	「あるもの活かし」	へ
「企業が提供・維持」	から	「地域も加わってサービス維持」	へ
「ナショナルサービス」	から	「地域企業との共創の新サービス」	へ

サテライトの運営 / 地域の互助

推進機構では、直営型サテライト「みどりん」と、地域団体への委託型サテライト「おおきなき」を開設。

サテライトの運営にあたって、地域住民の利用を促進するにはサテライトに行く「目的」、サテライトでの「役割」づくりに取り組みました。その関係も負担にならない「ゆるやかな」ものになるよう努めました。



直営型サテライト「みどりん」

平成29年4月に、緑が丘事業部に併設する形で設置。地域の居場所づくり、各種サークル、相談、教室などの事業を行いました。



各種相談		サークル	
税務相談	協力:近畿税理士会三木支部	手紙絵サークル	
心の相談	協力:垂水病院	みっきい☆いきいき体操	
ピアサポート相談	協力:みによんち		

各種教室・講座

男のスパイス講座	協力:ハウス食品工業
ビューティタッチセラピー	協力:日本介護美容セラピスト協会
相続遺言セミナー・JA相談会	協力:JA兵庫みらい、JA兵庫信連
サンロード商店街インターネット講座	講師:上野 真哉
ヨガ	講師:コサカ メグミ
英語であそぼ	講師:立脇 真理子
ベビーマッサージ	講師:川久保 綾乃
超・腸美人になれる酵素活用講座	講師:西村 芳子



ハウス・男のスパイス講座



英語であそぼ

サテライト(みどりん)の利用状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	通期
利用者数(人)	2,149	7,058	7,049	2,351	18,607
開催日数(日)	232	261	243	185	921
平均利用者数(人/日)	9.3	27.0	29.0	12.7	20.2

来場者の内訳

	開所日数	みどりん来場者数	いきいき体操	手紙絵サークル	英語であそぼ	ビューティーレッスン	各種ヨガ	ベビーマッサージ	クラウドワーク	みどりん寄席	健幸食事会	マイポイント窓口	サテライト利用者
令和元年度	243	7,049	322	272	112	117	236	34	925	62	15	-	4,954
令和2年度	185	2,351	-	180	-	-	193	-	3	-	-	252	1,723

※新型コロナウイルス感染症対策のため各種イベント、サークル、会議等、多くの事業を中止。

委託型サテライト「おおきなき」

平成31年3月、委託型サテライトの運営を地域団体(おおきなき)に委託。



おおきなきは、子育て支援を中心に活動していましたが、世代を超えた多世代が参加できる活動をめざし、毎月1回地域課題を解決するリビングラボを開催しました。令和元年度は、介護、地域パル(食堂)、不用品の交換会(Xチェンジ)など幅広いテーマで開催。令和2年度は、前年度の活動を踏まえXチェンジを中心に開催。



壁塗りラボ

リビングラボ

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
4月17日	5月22日	6月5日	7月7日	8月27日	9月25日
壁塗りワークショップ	Dr. Y's BAR	介護付き多世代共生施設見学	絵本とハーブコンサート & 月1パル	Xチェンジ & JAZZコンサート	Dr. Y's BAR
18人	22人	28人	24人	54人	6人
第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
10月29日	11月27日	12月25日	1月23日	2月23日	3月27日
施設見学体験「富樫の里」	大麦の話と三木産クラフトビール	Creaning Day & スリッパ卓球	Xチェンジ & 重ね煮料理体験教室	Xチェンジ	Xチェンジ & プチ断食
20人	20人	20人	12人	30人	未実施

健康寿命の延伸 / フレイル予防

健康寿命を延ばすために「フレイル予防」の取り組みをスタート。

フレイル予防の3つの要素「運動」「栄養」「社会参加」を中心に、健康管理を行いました。健康ステーションを常設設置「運動」のベースとなる「筋肉」チェック機器を導入し、SMI(筋肉総合評価)を測定し、筋肉の量・筋質のチェックを行いました。「栄養」については、市の栄養士会・保健師会の協力で毎月1回栄養・健康相談を行いました。「社会参加・運動」については、三木市で普及している「みっさい☆いきいき体操」の普及を図りました。

1) 健康ステーション事業

健康ステーションでは、リピート受信者が少ない結果となりました。保健師・栄養士等の専門スタッフによる相談体制が必要です。

健康ステーションの利用状況

回数	1回	2回	3回	4回	合計
人数	142人	33人	15人	4人	194人

主な設置機器

体組成計

体脂肪、体幹・四肢の筋肉質・量、総骨量、BMIなどを測定。



運動機能分析

下肢の筋肉のパワー、スピード、バランスを測定し、SMIによる総合評価を実施。



2) 健幸クラブ事業

会員制の健幸クラブ(登録会員約200名 令和2年3月末、市内在住・在勤者は無料、以外の者は1,000円)を設置。健康測定のリポートを促すとともに、各種イベントの案内、モニター参加など、幅広い協力をいただきました。

3) 健康相談事業

健康測定のリピーターを増やすために、平成30年7月から毎月1回「健幸づくりの日」を開設。

栄養指導

三木栄養士会の協力を得て、栄養指導を実施しました。相談時間は、各人30分。

健康相談

在宅保健師の会の協力を得て、健康相談を実施しました。相談時間は30分、血圧測定を行い健康に関する日常生活の各種相談を行いました。

毎月1回「健幸づくりの日」

保健師の健康チェック
保健相談、栄養士の栄養相談。



▲栄養士が作ったメニューで、食事をしながら栄養・保健指導

4) 健康教室

健康教室

みどりん健康教室

協力：兵庫ヤクルト販売㈱

キューピー健康イベント

運動機能測定/補助栄養食品の試験販売

協力：㈱キューピー



み・ライフフェスタ / 緑が丘の「み」未来の「み」みんなの「み」

「地域住民の健康増進(健康寿命の延伸)」を大きなテーマとして開催。

フレイル予防の認知度が、第2回では参加者中数人でしたが、第3回では参加者の8割以上の方が認知していました。緑が丘ではみっさい☆いきいき体操が普及しており運動、社会参加が進んでいます。フレイル予防の「栄養摂取」の認識が進めば、健康寿命がさらに延びます。



第1回 み・ライフフェスタ

日時 平成29年11月19日(日)

参加人数 約80名

場所 緑が丘町公民館

講演 講演①「郊外型住宅団地の課題と今後」

テーマ 「みんなで緑が丘のまちづくりを考える」

講師 石井 義之氏

(国交省国土交通政策研究所)

講演② 講師 堂元 誠二氏(三木市役所)

みライフセミナー

「楽しく食べて健康に!」(キューピー㈱)

ワイワイ体験会

キューピー提供の食品を試食「パワーサラダ」

第2回 み・ライフフェスタ

日時 平成30年11月18日(日)

参加人数 約60名

場所 緑が丘町公民館

講演 「健康長寿のためのフレイル予防」

テーマ 「みんなで緑が丘のまちづくりを考える」

講師 谷口 和也氏

(NPO法人ヘルスプロモーション研究センター)

ワイワイ体験コーナー

・健康チェック・相談コーナー
・健康相談・栄養相談
・口腔衛生相談・心の相談

試飲

・おにぎり
「元気な骨」使用(キューピー㈱)
・プレティオ(兵庫ヤクルト7販売㈱)

いきいきコーナー

・心と体のハンドマッサージ
・椅子ヨガ
・健康体操

第3回 み・ライフフェスタ

日時 平成31年11月10日(日)

講演 講演①「今日から始めるフレイル予防

場所 緑が丘町公民館

～毎日の食事で健康寿命を延ばそう～

テーマ 「食」からアプローチする「フレイル予防」

講師 橋本 初恵先生

(㈱マルタマフーズ 開発販売室室長)

参加人数 約80名

講演②「今日から始めるフレイル予防

～毎日の運動で健康寿命を延ばそう～

講師 新垣 卓哉先生(㈱Sieg)

体験コーナー

・健康チェック・健康相談
・栄養相談

食の体験(マルタマフーズ㈱)

・フレイル予防メニュー
・もしもの時のお助けボックス

試飲

・プレティオ(兵庫ヤクルト販売㈱)
・ローヤルミックス(㈱ナリス化粧品)

フレイル予防運動

株式会社Sieg 新垣 卓哉先生

みどりん情報コーナー

いきいきコーナー

・ハンドセラピー・椅子ヨガ
・ミニ胡蝶蘭アレンジメント

お楽しみ抽選会

・栄養サプリ
・ハンドタオル

郊外型住宅団地の新しい生活サービスの検証

「健康管理・移手段の確保・働き方改革」等の実証事業に協力。

緑が丘団地を再生するための課題解決の糸口を調査・研究するために、大和ハウス工業が主宰する三木市郊外型住宅団地ライフスタイル研究会(会長 関西学院大学 角野博幸先生)に参加する企業が提案した「健康管理・移手段の確保・働き方改革」等の実証事業に協力しました。

1) IOT活用健康管理事業

凸版印刷(株)が、総務省が推進する「IoT サービス創出支援事業」の採択を受け「IoT×サテライト拠点による『生涯活躍』推進事業」として、高血圧症の重症化予防を目的に、IoTを活用して患者一人ひとりに寄り添った継続的かつ最適な対策実施を目指す実証実験を行いました。

推進機構は、モニターの皆様の測定機器の受け渡し、みどりでの測定やデータの送信支援などを行いました。



事業報告会

2) 自動運転実証事業

日本工営(株)が、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)自動運転(システムとサービスの拡張)のプロジェクトのひとつとして、管理法人の国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「ニュータウンを対象とした交通ネットワークへの自動運転サービス」の社会実装に向けた実証調査を、緑が丘町・青山地区で実施しました。

推進機構は、運行のキーステーションとなるコールセンター業務を請け負いました。専任職員3名を雇用し、30人のモニターから乗降の連絡を受け運行システムに入力する作業や利用者アンケートなどを行いました。



自動運転車両



コールセンター業務



3) 青山7丁目農業就労体験事業

大和ハウス工業(株)と推進機構は、スマートウェルネス住宅等推進モデル事業として高齢化の進展を先取りする「緑が丘団地」において、高齢者等が社会に出て働くことで、達成感や生きがい、地域の人との触れ合いによる楽しさなどを感じ、心と体の健康を促進する仕組みを構築するため、センサーやIoT機器を介した健康管理の検証を行い、安全安心な就労環境の整備を行う事業を実施しました。

推進機構は、実証期間中の就労者の募集協力、健康測定、保健師による健康相談の業務を担当しました。

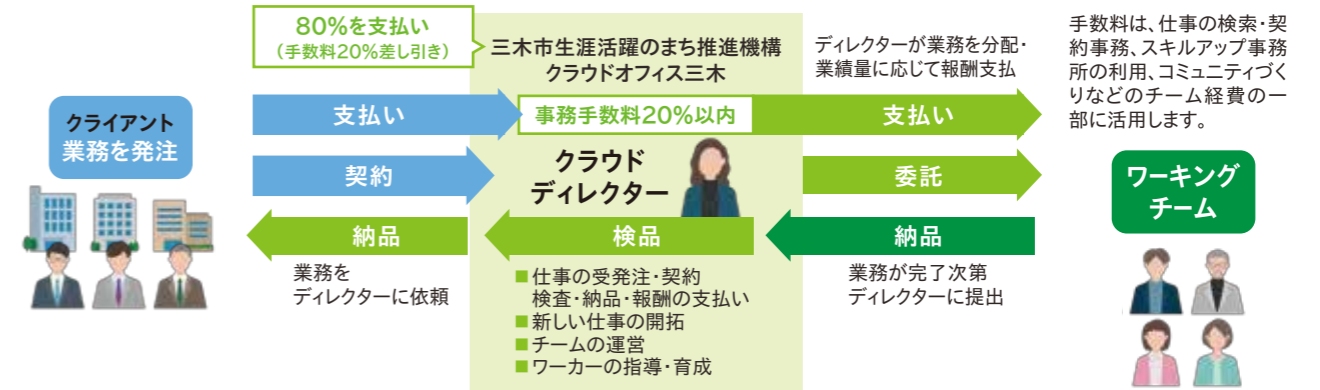


従事者の健康測定

新しいしごとスタイルの検証

「新しいしごとづくり」としてクラウドソーシングを実施。

子育てや介護などでの空いた時間を活用し、収入を得られる「新しいしごとづくり」としてクラウドソーシングを実施。個人で始めた場合の不安・事務の手間を解消するためにチーム制によるクラウドソーシングとしチームにディレクターを配置して所属ワーカーの支援を行い定着率を高めました。



チーム制によるクラウドソーシング

個人で始めるワーカーは、契約等の法律行為、技術などの壁に当たり定着率が非常に低い傾向があります(10%以下)。そこで、ワーキングチームを編成しディレクターによる指導などワーカーのしごと環境を整えました。



<https://cloudmiki.com>

ディレクター制

- ディレクターがワーカーをフォローアップ 各種研修でスキルアップ
- 仕事検索・契約等、煩わしい事務から開放され仕事に専念

チーム制

- チームでしごとをするため、コミュニティに参加できて社会性を確保
- 支えあいでモチベーション維持

チーム「STACK」では、現在約30名のワーカーが業務を分担しています。ワーカーの定着率を高めるために、作業単価のアップや継続的な業務量の確保。また、デザイン・専門的な分野のライティングなどの研修に取り組んでいます。



取り扱っている業務 取扱中のしごと

アイデア	記事作成・校正
ネーミング	データ入力
テーブル起こし	翻訳・通訳
商品モニター	経理代行
ウェブデザイン	アプリ開発
映像制作・編集	システム開発
チラシ・ポスターデザイン	製品デザイン
コールセンター	映像・写真撮影

住宅地別ワーカー数

市内	緑が丘	9人
	青山	6人
	自由が丘	4人
	その他市内	8人
市外	3人	
合計	30人	

個人別受注累計(チーム受注分)

区分	令和元年度	令和2年度
200,000円~	3人	1人
100,000円~	4人	2人
70,001~99,999円	4人	3人
30,001~69,999円	4人	5人
10,001~29,999円	9人	10人
1,001~9,999円	12人	8人
1~1,000円	3人	0人
0	3人	1人
合計	42人	30人